

京都市では、各施設の運営がどのようになっているか、税金がどのように使われているかを市民の皆さまに分かりやすくお伝えする取組を行っています。

京都市だいが学園の運営について

当施設は平成15年に開設し、就職を目指す方、これまでの就労移行支援で就職にいたらなかった方、または継続した就労を望む方、利用者一人ひとりに合った「働く」ための幅広い支援を提供しています。活動は主に事業所内で軽作業・ドーナツやパンの製造作業・カフェの接客作業、清掃作業など多様な作業を経験して頂きながら、経験値を増やし適性を見つけて頂きます。

当施設の収入と支出

<当施設の収入と利用者数>
主に国からの給付費収入及び就労支援事業収入等により運営
令和元年度の利用者数 9,053人（有料）

<支出>

総額 1.0 億円

利用者 1 人当たりの運営経費 10,740円 (A)

人件費 7,370円	水道光熱費 材料費等 2,720円	委託費等 540円	その他 110円
---------------	-------------------------	--------------	-------------

<収入>

総額 0.19 億円

利用者 1 人当たりの
収入 1,990円 (B)

総額 0.81 億円

(A) - (B)

就労支援事業収入 1,850円 (17%)	その他 140円 (1.3%)
-----------------------------	-----------------------

差額 $\Delta 8,750$ 円

公費で負担

いずれも概数
10円単位で四捨五入

- 施設を利用しない方も含めた公費負担により、現行の利用料金等で施設が運営されています。

施設の運営費は、利用者の負担（施設使用料等）と公費負担などにより賄われています。

施設運営の現状について「見える化」を進め、施設の状況に応じた収支改善の取組（維持管理コストの見直し、施設の目的を踏まえた稼働率の向上、受益者負担の適正化等）を進めてまいります。